

会議名	第10回千郷地域協議会		公開
日時	令和4年12月21日(水) 午後7時00分～午後8時40分	場所	西部公民館 多目的ホール
出席者	(委員) 今泉昇一、今泉弘、竹下和弘、老平良久、岡山雅仁、岩倉明 今泉雅晴、大森良則、菅野行洋、熊谷明、菅沼基義、竹下秀則 岩田常文、古瀬剛、熊谷三四四、近藤武、高井加奈、柳澤直美 神谷実加、瀧下一美、山本孝弘、伊藤雅明、山本紀子、柴田洋子 浅井知寿子		
	(事務局) 千郷自治振興事務所：笹田明男所長、宮本博之(主担当)		
欠席者	(委員) 杉浦幸雄、牧野勲、岡山薫	傍聴者	1名
配布資料	次第 検討資料1(地域活動交付金アンケート集計表) 検討資料2(地域活動交付金工程表(現状/変更計画)) 検討資料3(地域計画推進体制検討会の検討委員の推薦について) 市長と地域協議会委員との意見交換に対する回答書		

### 議題・議事・発言等(要点記録)

#### 1 開会及び会長あいさつ

今泉会長によるあいさつの後、本日の会議成立の報告を行った。

会議に先立ち会議録署名者を会長より「伊藤雅明」委員、「山本紀子」委員の2名を指名し両委員ともに承諾がされたため、次第に従い議事に移った。

#### 2 議事

##### 第1号議案 千郷地域活動交付金事業について

事務局により配付資料の説明がなされ、協議に移った。

(主な意見等は以下のとおり。)

・前年度審査の導入については、活動団体としては年度当初の4月より活動が実施できるのは良いと思うが、事前着手承認申請という仕組みもあるため、特別問題が無いのであれば今のままでも良いと感じる。他の地域自治区の様子はどうか。

「※事務局より、旧新城地区では新城地域自治区、千郷地域自治区以外は前年度審査を近年導入されたことの回答がされた。」

・前年度審査を導入すると、募集を1月頃となることが想像されるが、次年度の役員等が決められていない時期となってしまう、団体によっては応募に際し申請代表者が決まっていない時期に募集期間となると困る事になり得ないか。

・前年度審査を導入した場合の日程案でいくと、千郷地域自治区では様々な行事と時期が重なり、調整が必要となること、更には活動団体にも相当周知や理解していただくことが重要となる。

・交付金額及び交付率については、特別枠など設けても良いのではと思うが、具体的な内容は今後検討していくのはどうか。

・既存交付金の上限額である50万円については、額の多い少ないはわからないが、わざわざ上限額にあわせた申請内容にして応募されるケースもあるように感じられる。このため、もう少し上限額については引き上げることも検討してはどうか。

①前年度審査の導入

④交付金/交付率

⑨交付金分科会設置

以上3項目の協議については、次回地域協議会に持ち越しとされ、次の内容につい

て原案と定め採決に移った。

- ②募集期間
- ③応募資格
- ⑤本地域協議会としての取り決め事項／方針
- ⑥プレゼンテーションの時間等
- ⑦プレゼンテーションの省略
- ⑧審査の基準

以上6項目については今まで通り「変更なし」とすることを原案とした。

#### ■決定事項

採決の結果、原案のとおり賛成多数として可決決定とされた。

なお、①④⑨の協議項目については、次回地域協議会にて継続協議を行うこととして第1号議案の協議は終了とした。

#### 第2号議案 地域計画推進体制検討会の検討委員の推薦について

事務局により配付資料の説明がなされ、協議に移った。

(主な意見等は以下のとおり。)

- ・事務局により、次回に原案を提出のうえ協議することとしてはどうか。

以上の発言後、協議及び質疑応答に移ったが委員から特にご意見ご質問等もなかったことから採決に移った。

#### ■決定事項

発言のあったとおり、事務局案を求め次回協議を継続することを原案とし、採決の結果として全会一致で承認がなされ、今後この方針に基づき次回地域協議会にて継続協議を行うこととして第2号議案の協議は終了とした。

### 3 報告

#### 第8回千郷地域協議会開催時（令和4年10月26日(水)）における、地域協議会委員と市長との意見交換に対する市所管課からの回答について

市から会長へ回答書が届いたため、このことについて会長から報告がなされた。

### 4 連絡事項

- (1) 第8回地域計画策定分科会の開催について
  - (2) 第11回千郷地域協議会の開催について
- 以上の事について事務局より連絡。

### 5 閉会